

山形県は6・7％減。県全体として自然災害に予算を配分しており、大口の官庁発注工事が減少した。庄内が5％減、最上・村山が2％減、置賜は21％減だった。福島県は12・1％減で、官庁大型工事の減少により県北・県中はいずれも11％減、浜通り地区は小名浜港東港関連工事等完成に伴い19％減となった。

新規78万ト、再生201万ト

アスphalt
協東北 25年4―12月製造量

日本アスphalt協会
東北連合会(野口典秀支部長)
は、2025年度第3四半期(4―12月末)までのアスphalt合計製造量をまとめた。累計は新規合材が前年同期比19・9％減の78万5000ト、一般工事などに使用される再生合材は1・6％減の201万6000トで、合計は7・5％減の280万1000ト。このまま推移すると25年度の合材製造量は345万ト前後となり過去最低を更新する見込みだ。

第3四半期(10―12月)は新規合材が前年同期比20・7％減の29万2000ト、再生合材は県市町村発注工事の減少に伴い1・5％減の83万7000トで、合計は7・3％減の112万9000トとなった。

	合材	第3半期(4―12月)
青森	新規	115 (△38.2)
	再生	287 (△2.4)
	小計	402 (△16.2)
岩手	新規	128 (△11.7)
	再生	298 (△3.8)
	小計	426 (△1.4)
宮城	新規	187 (△19.7)
	再生	394 (△0.5)
	小計	581 (△7.6)
秋田	新規	62 (△13.9)
	再生	318 (△11.6)
	小計	380 (△6.4)
山形	新規	100 (△7.4)
	再生	232 (△6.5)
	小計	332 (△6.7)
福島	新規	193 (△18.2)
	再生	487 (△9.5)
	小計	680 (△12.1)
東北全体	新規	785 (△19.9)
	再生	2016 (△1.6)
	合計	2801 (△7.5)

単位：千ト、カッコ内は前年度比(％)

